

ASJ 編集委員会、若手奨励・男女共同参画推進委員会共催、協賛 Wiley

ランチョンセミナー報告

テーマ：「はじめての論文投稿 -ASJ の現状と出版倫理について-

日 時： 2017 年 3 月 29 日（水）12:00～13:00

場 所： 神戸大学・鶴甲第 1 キャンパス・B 棟・第Ⅲ会場（B209 講義室）

講演者： （公社）日本畜産学会機関誌編集委員会

委員長 佐藤 正寛 （東北大学大学院農学研究科教授）

副委員長 菊地 和弘 （農研機構生物機能利用研究部門主席研究員）

参加費： 無料

今回は、ASJ 編集委員会と若手奨励・男女共同参画推進委員会の共催で、Wiley の協賛を得て、国際誌 Animal Science Journal (ASJ) の現状、論文投稿時のガイドライン、出版倫理などについて、機関誌編集委員会佐藤委員長および菊地委員長からお話を頂きました。

100 名を超える出席者があり、佐藤委員長からは、ASJ のインパクトファクター（文献引用影響率）の動向、各国からの投稿数の動向、畜産学を構成する各関連分野からの投稿の動向など、本学術誌のプレゼンスに関わる詳細な分析結果が紹介されました。また菊地副委員長からは、投稿する際の論文出版倫理について、「研究捏造」、「剽窃/盗用」、「二重/複数出版」、「サラミ法（論文の分割）」、「オーサーシップ」、「利益相反」など具体的な例を挙げて、わかり易くご説明を頂きました。

若手の研究者のみならず、一般会員の皆様にとっても、投稿の際の注意点を改めて理解し、投稿者と編集委員会との相互交流をはかる大変有意義な時間になったものと存じます。（木村直子）



講演中の佐藤委員長と菊地副委員長